

授業科目名	国際英語	単位数	2
担当教員名	原 隆幸	担当形態	単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
<p>「学位授与の方針」との関係</p> <p>星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。</p> <p>A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。</p> <p>B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。</p> <p>C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。</p> <p>D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。</p> <p>E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。</p> <p>F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>「国際英語」が指す内容とその関連領域にも触れながら理解を深め、国際英語に関する背景的な知識を身に付ける。</p>			
<p>授業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「国際英語」が指す内容だけでなく、国際英語に関連する領域（異文化リテラシー、グローバル人材など）にも触れながら知識を身に付ける。 ・国際英語とどのように接していったらいいのかを考察し、理解を深める。 			
<p>授業計画</p> <p>第1回：英語の国際化と多様性、英語の多様性にどう対処するか</p> <p>第2回：「国際共通語としての英語」の社会的意義</p> <p>第3回：「言語」の多様性と「言語機能」の多様性</p> <p>第4回：英語の諸相</p> <p>第5回：アクセントと言語態度、英語の多様性と共通性</p> <p>第6回：異文化間リテラシーとメタファー</p> <p>第7回：ことばと社会・文化</p> <p>第8回：いろいろな英語</p> <p>第9回：中国の英語事情</p> <p>第10回：「円滑なコミュニケーション」の前提</p>			

第11回：対話としての英語コミュニケーション

第12回：言語コミュニケーション力の評価

第13回：「国際共通語としての英語」の学び方

第14回：日本企業と国際言語としての英語、日本社会と英語

第15回：グローバル人材の言語力

定期試験

教科書

(1) 本名 信行『国際言語としての英語：文化を越えた伝え合い』（2013年）富山房インターナショナル

(2) 柴田 美紀、仲 潔、藤原 康弘『英語教育のための国際英語論：英語の多様性と国際共通語の視点から』（2020年）大修館書店

参考文献

必要な場合は別途提示する。

学生に対する評価

レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）の割合で総合して評価する。